

佐藤一斎に学ぶ人材育成講座

「言志四録」で心育てて

多治見市 経営者ら50人聴講

東濃信用金庫の「佐藤一斎に学ぶ人材育成講座」が10日、多治見市虎溪山町のとうしん学びの丘エールで開かれた。来年2月までの計3回の講座で佐藤一斎の教えを学ぶ。
(高木俊徳)



佐藤一斎について講演する鈴木隆一氏＝多治見市虎溪山町とうしん学びの丘エール

岩村藩出身の幕末の材、指導者を生み出し、

儒学者で教育者の一斎 明治維新を導いた幕末の教えは、多くの人にの志士たちに大きな影響を与え、優秀な人響を与えたといわれて

いる。

講座は郷土の先人の知恵を学び、経営や人材育成に役立ててもらおうと、同金庫がNPO法人いわむら一斎塾との共催で開催した。

第1回は会社経営者や管理職の約50人が参加し、同塾の鈴木隆一理事長が「佐藤一斎と言志四録」と題して講演した。言志四録は学

問や教養、修養など133条にわたって書かれた随想録。
鈴木氏は「人生観や思想が現代にも通じ、読み続けられている」とした上で、「何を讀み取るのか個人によって違つが、言志四録が心を育てる。ぜひその心を身に付けてほしい」と語った。